

【補充資料 2 - 】単元「Let's Read 1」の指導展開案（1）

単元「Let's Read 1 A Magic Box」の指導展開案（1 / 5 時間）

- (1) 目標
- ・物語を読んで、場面展開を読み取ることができる
 - ・「昨日の日記」というトピックに基づき、自分について英語で書いて表現できる。

(2) 評価規準

評価場面	具体の評価規準		Cの生徒への支援
	A	B	
ワークシートへの記述 (場面の展開や登場人物の心情)	場面や状況を把握し、登場人物の心情を適切に読み取ることができる。	物語を読んで、場面の展開や登場人物の心情を読み取ることができる。	ピクチャーカードなどを用いて場面や登場人物について把握させる。
自己表現活動	トピックに基づき事実や自分の考え、気持ちなどを、適切な言語材料を用いて表現できる。	トピックに基づき自分で書きたいことや相手に伝えたいことを英語で表現できる。	言語材料の確認の場面で使ったGアップシートを参考に、1文でも多く書かせるように支援する。

(3) 展開（1 / 5 時間）

	学 習 活 動	指 導 上 の 留 意 点 (はGアップシートの活用)
導入 (10)	<p>1 帯学習（言語材料の定着度の確認）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自己表現活動のトピックに関わる評価問題に取り組む。(Gアップシート) ・答え合わせをする。 <p>2 本時の学習課題を確認する</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>A Magic Box 32ページの読んで、物語のあらすじを理解しよう。 「昨日の日記」というテーマで、英語で書いて表現しよう。</p> </div>	<p>生徒が日記を書くために必要な言語材料に焦点を置き、短時間で確認させる。</p> <p>自分の答えを確認させるとともに、日記を書くための言語材料や表現例について考えさせる。</p>
展開 (30)	<p>3 本文の提示</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教科書を閉じさせ、ピクチャーカードを見ながらCDを聞き、内容について考える。 <p>4 新出単語の確認</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新出単語の発音練習（全体） ・新出語句の意味の確認 <p>5 本文の音読</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教科書32ページの音読練習（全体） <p>6 本文の内容理解</p> <ul style="list-style-type: none"> ・読み取りの観点をもとに内容について考える。(ワークシート) ・内容について確認する <p>7 文法や表現の確認</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本文中の重要文法や表現を確認し、ノートにまとめる。 <p>8 演習</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本文のあらすじを過去のこととしてとらえ、32ページの場面にかかわる演習を行う。(ワークシート) ・答え合わせをする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・場面や状況、登場人物について考えさせながらCDを聞くように指示をする。 ・フラッシュカードを用いて、CDや教師のあとに続かせて大きな声で発音させる。 ・教科書に示してある単語の意味を確認させる。 ・教師のあとに続かせて、大きな声で読ませる。 ・内容を考えさせながら音読させる。 ・場面や状況、登場人物の心情についてよく考えさせて取り組ませる。 ・新出の慣用句などを中心にどのような表現であるか生徒に確認しながらノートにまとめる。 ・老婆と夫婦の出会いの場面を過去のこととしてとらえさせ、動詞の語形変化を中心とした演習に取り組ませる。
終末 (10)	<p>9 自己表現活動（書くこと）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「昨日の日記」というトピックについて英語でまとまりのある英文を書く。(Gアップシート 4連文以上) 	<p>導入の場面で扱った言語材料も参考にさせながら、できるだけ多くの文を書かせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・過去形の動詞に注意させながら書かせる。 ・事実だけではなく、自分の気持ちや考えも英語で表現させる。 <p>スピーチをすることを目標とさせ、相手が理解しやすい文のくみたて方について考えさせながら書かせる。</p> <p>机間巡視をしながら、書けない生徒に支援し、モデル文を参考にしながら、1文でも多く文を書かせる。</p>

【補充資料 2 - 】単元「Let's Read 1」の指導展開案（2）

単元「Let's Read 1 A Magic Box」の指導展開案（2 / 5 時間）

- (1) 目標
 ・物語を読んで、場面展開を読み取ることができる
 ・「昨日の日記」というトピックに基づき、自分について書いた英文をスピーチとして発表できる。
- (2) 評価規準

評価場面	具体的評価規準		Cへの生徒への支援
	A	B	
ワークシートへの記述 (場面の展開や登場人物の心情)	場面や状況を把握し、登場人物の心情を適切に読み取ることができる。	物語を読んで、場面の展開や登場人物の心情を読み取ることができる。	ピクチャーカードなどを用いて場面や登場人物について把握させる。
トピックに基づき自分の書いた英文をスピーチとして発表する。	聞き手に伝わるように、大きな声で感情をこめてスピーチすることができる。	自分のことをスピーチをとおして、聞き手に伝えることができる。	教師が机間巡視をしながら、スピーチすることを支援する。

(3) 展開（2 / 5 時間）

	学習活動	指導上の留意点 (Gアップシートの活用)
導入 (5)	1 帯学習（スピーチの練習） 「昨日の日記」についてスピーチの練習に取り組む。 2 本時の学習課題を確認する A Magic Box 33ページの読んで、物語のあらすじを理解しよう。 「昨日の日記」というテーマで英語でスピーチしよう。	<ul style="list-style-type: none"> ・聞き手に伝わりやすい声の大きさについて考えさせるとともに、感情を込めて練習させる。 ・机間巡視しながら、読めない生徒がいないか確認する。
展開 (30)	3 自己表現活動（書くこと）の振り返り ・自分の書いた英文の見直しをする。 4 自己表現活動（スピーチ） ・「昨日の日記」というテーマのもと自分の書いた英語をスピーチとして発表する。 （ペア...となり同士で発表しあう） 5 前時の復習 ・教科書の音読をする ・大まかな内容を口頭にて確認する。 6 本文の提示 ・教科書を開けたままCDを聞き、内容について考える。 7 新出単語の確認 ・新出単語の発音練習（全体） ・新出語句の意味の確認 8 本文の音読 ・教科書33ページの音読練習（全体） 9 本文の内容理解 ・読み取りの観点をもとに内容について考える。（ワークシート） ・内容について確認する	<ul style="list-style-type: none"> ・スピーチの前に見直しをさせ、自分の課題に気付かせる。 ・必要に応じて、「言語材料の定着度の確認」の時に使用したGアップシートを活用して文法や語彙、トピックに関わる表現を確認する。 ・聞き手に伝わるように大きな声で発表させる。 ・スピーチを聞いたあとに感想やもっと知りたかったことなどを発表者に伝えるに指示する。 ・生徒を数名指名し、簡単な質問を口頭にて行い、前回のおおまかなあらすじを確認しておく。 ・本文の内容を考えさせながらCDを聞くように指示をする。 ・フラッシュカードを用いて、CDや教師のあとに続かせて大きな声で発音させる。 ・教科書に示してある単語の意味を確認させる。 ・教師のあとに続かせて、大きな声で読ませる。 ・内容を考えさせながら音読させる。 ・場面や状況、登場人物の心情についてよく考えさせて取り組ませる。
終末 (15)	10 文法や表現の確認 ・本文中の重要文法や表現を確認し、ノートにまとめる。 11 演習 ・本文32～33ページのあらすじを自分が夫婦になったつもりで日記を書いてみる。 ・答え合わせをする。	<ul style="list-style-type: none"> ・新出の慣用句などを中心にどのような表現であるか生徒に確認しながらノートにまとめる。 ・32～33ページの場面を自分が夫婦になったつもりで老婆との出会いやマジックボックスをもらったことを日記形式で日本語を与え、英語で表現させる。 ・教科書を参考にさせながら、動詞の語形変化に注意させる。

【補充資料 2 - 】単元「Let's Read 1」の指導展開案（3）

単元「Let's Read 1 A Magic Box」の指導展開案（3 / 5 時間）

- (1) 目標
- ・物語を読んで、場面展開を読み取ることができる
 - ・「日記（週末の出来事）」というトピックに基づき、自分について英語で書いて表現できる。

(2) 評価規準

評価場面	具体の評価規準		Cへの生徒への支援
	A	B	
ワークシートへの記述 (場面の展開や登場人物の心情)	場面や状況を把握し、登場人物の心情を適切に読み取ることができる。	物語を読んで、場面の展開や登場人物の心情を読み取ることができる。	ピクチャーカードなどを用いて場面や登場人物について把握させる。
自己表現活動	トピックに基づき事実や自分の考え、気持ちなどを適切な言語材料を用いて表現できる。	トピックに基づき自分で書きたいことや相手に伝えたいことを英語で表現できる。	言語材料の確認の場面で使ったGアップシートを参考に、1文でも多く書かせるように支援する。

(3) 展開（3 / 5 時間）

	学 習 活 動	指 導 上 の 留 意 点 (はGアップシートの活用)
導入 (10)	<p>1 帯学習（言語材料の定着度の確認）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自己表現活動のトピックに関わる評価問題に取り組む。(Gアップシート) ・答え合わせをする。 <p>2 本時の学習課題を確認する</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 2px;">A Magic Box 34ページの読んで、物語のあらすじを理解しよう。 「日記（週末の出来事）」というテーマで、英語で書いて紹介しよう。</p>	<p>日記を書くために、必要な言語材料に焦点を置き短時間で確認させる。</p> <p>自分の答えを確認させるとともに、生徒に自分の週末の出来事について思い出させ、日記を書くための言語材料や表現例について考えさせる。</p>
展開 (30)	<p>3 前時の復習</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教科書を開かせたまま、P32～33までの本文をCDで聞く。 ・おおまか内容を口頭で確認する。 <p>4 本文の提示</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教科書を開けたままCDを聞き、内容について考える。 <p>5 新出単語の確認</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新出単語の発音練習（全体） ・新出語句の意味の確認 <p>6 本文の音読</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教科書34ページの音読練習（全体） <p>7 本文の内容理解</p> <ul style="list-style-type: none"> ・読み取りの観点をもとに内容について考える。(ワークシート) ・内容について確認する <p>8 文法や表現の確認</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本文中の重要文法や表現を確認し、ノートにまとめる。 <p>9 演習</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本文のあらすじを過去のこととしてとらえ、34ページの場面にかかわる演習を行う (ワークシート) ・答え合わせをする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒を数名指名し、前時（33ページ）の内容について簡単な質問を口頭で行い、あらすじを確認する。 ・本文の内容を考えさせながらCDを聞くように指示をする。 ・フラッシュカードを用いて、CDや教師のあとに続かせて大きな声で発音させる。 ・教科書に示してある単語の意味を確認させる。 ・教師のあとに続かせて、大きな声で読ませる。 ・内容を考えさせながら音読させる。 ・場面や状況、登場人物の心情についてよく考えさせて取り組ませる。 ・新出の慣用句などを中心にどのような表現であるか生徒に確認しながらノートにまとめる。 ・夫婦が家に帰り、マジックボックスを使った場面を過去のこととしてとらえさせ、動詞の語形変化を中心とした演習に取り組ませる。
終末 (10)	<p>9 自己表現活動（書くこと）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「日記（週末の出来事）」というトピックについて英語でまとまりのある英文を書く。(Gアップシート 4連文以上) 	<p>導入の場面で扱った言語材料も参考にさせながら、できるだけ多くの文を書かせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事実だけではなく、自分の気持ちや考えも英語で表現させる。 ・スピーチをすることを目標とさせ、相手が理解しやすい文のくみたて方について考えさせながら書かせる。 ・机間巡視をしながら、書けない生徒を支援し、モデル文を参考にさせながら、1文でも多く文を書かせる。

【補充資料2 - 】単元「Let's Read 1」の指導展開案（4）

単元「Let's Read 1 A Magic Box」の指導展開案（4 / 5時間）

- (1) 目標
- ・物語を読んで場面展開を読み取ることができる
 - ・「日記（週末の出来事）」というトピックに基づき、自分について書いた英文をスピーチとして発表できる。

(2) 評価規準

評価場面	具体の評価規準		Cへの生徒への支援
	A	B	
ワークシートへの記述 (場面の展開や登場人物の心情)	場面や状況を把握し、登場人物の心情を適切に読み取ることができる。	物語を読んで、場面の展開や登場人物の心情を読み取ることができる。	ピクチャーカードなどを用いて場面や登場人物について把握させる。
トピックに基づき自分の書いた英文をスピーチとして発表する。	聞き手に伝わるように、大きな声で感情をこめてスピーチすることができる。	自分のことをスピーチをおして、聞き手に伝えることができる。	教師が机間巡視をしながら、スピーチすることを支援する。

(3) 展開（4 / 5時間）

	学習活動	指導上の留意点 (Gアップシートの活用)
導入 (5)	1 帯学習（スピーチの練習） 「日記（週末の出来事）」についてスピーチの練習に取り組む。 2 本時の学習課題を確認する A Magic Box 35ページの読んで、物語のあらすじを理解しよう。 「日記（週末の出来事）」というテーマで英語でスピーチしよう。	<ul style="list-style-type: none"> ・聞き手に伝わりやすい声の大きさについて考えさせ、感情を込めて練習させる。 ・机間巡視しながら、読めない生徒がいらないか確認する。
展開 (30)	3 自己表現活動（書くこと）の振り返り ・自分の書いた英文の見直しをする。 4 自己表現活動（スピーチ） ・「日記（週末の出来事）」というテーマのもと自分の書いた英語をスピーチとして発表する。（ペア...となり同士で発表しあう） 5 前時の復習 ・教科書を開けさせたまま、P 32～34までの本文をCDで聞く。 ・大まかな内容を口頭にて確認する。 6 本文の提示 ・教科書を開けたままCDを聞き、内容について考える。 7 新出単語の確認 ・新出単語の発音練習（全体） ・新出語句の意味の確認 8 本文の音読 ・教科書35ページの音読練習（全体） 9 本文の内容理解 ・読み取りの観点をもとに内容について考える。（ワークシート） ・内容について確認するとともに、3番目の提案について英語で発表させる。	<ul style="list-style-type: none"> ・スピーチの前に見直しをさせ、自分の課題に気付かせる。 ・必要に応じて、「言語材料の定着度の確認」の時に使用したGアップシートを活用して文法や語彙、表現をもう一度確認する。 ・聞き手に伝わるように大きな声で発表させる。 ・スピーチを聞いたあとに感想やもっと知りたかったことなどを発表者に伝えるに指示する。 ・生徒を数名指名し、これまでの内容について簡単な質問を口頭にて行い、あらすじを確認しておく。 ・本文の内容を考えさせながらCDを聞くように指示をする。 ・3番目の提案について考えさせながら聞くように指示する。 ・フラッシュカードを用いて、CDや教師のあとに続けて大きな声で発音させる。 ・教科書に示してある単語の意味を確認させる。 ・教師のあとに続けて、大きな声で読ませる。 ・内容を考えさせながら音読させる。 ・場面や状況、登場人物の心情についてよく考えさせて取り組ませる。 ・3番目の提案の例をいくつか示し、生徒に自由に考えさせ、発表させる。
終末 (15)	10 文法や表現の確認 ・本文中の重要文法や表現を確認し、ノートにまとめる。 11 演習 ・教科書36ページのReviewに取り組む。 ・答え合わせをする。	<ul style="list-style-type: none"> ・既習の慣用句などを中心にどのような表現であるか生徒に確認しながらノートにまとめる。 ・問題に関しては過去形の表現に注意させる。 ・答えだけを生徒に言わせるのではなく、「誰が何をした」のか文の内容を聞きながら、動詞の過去形を中心に確認する。

【補充資料2 - 】単元「Multi Plus 2」の指導展開案（1）

単元「Multi Plus 2 わたしの夏休み」の指導展開案（1 / 2時間）

- (1) 目標 ・「夏休みの思い出」というトピックに基づき、自分について英語で書いて表現できる。
 (2) 評価規準

評価場面	具体的評価規準		Cへの生徒への支援
	A	B	
自己表現活動	トピックに基づき事実や自分の考え、気持ちなどを適切な言語材料を用いて表現できる。	トピックに基づき自分で書きたいことや相手に伝えたいことを英語で表現できる。	言語材料の確認の場面で使ったGアップシートを参考に、1文でも多く書かせるように支援する。

(3) 展開（1 / 2時間）

	学 習 活 動	指 導 上 の 留 意 点 (はGアップシートの活用)
導入 (10)	1 帯学習（言語材料の定着度の確認） ・「夏休みの思い出」に関わる評価問題に取り組む。（Gアップシート） ・答え合わせをする。 2 本時の学習課題を確認する	生徒が夏休みに体験しそうな話題に関するモデル文の読解問題を含んだシートを活用し、言語材料の定着度を確認する。 自分の答えを確認させるとともに、夏休みの思い出を書かせるための言語材料や表現例について考えさせる。
「夏休みの思い出」というテーマで、英語で書いて紹介しよう。		
展開 (30)	3 教科書のスモールステップ Step 1 (Reading) ・新出語句の発音練習（全体） ・新出語句の意味の確認 ・夏休みの思い出のモデルとなる文の音読（全体） ・モデルとなる文の内容把握 4 スピーチのモデルの提示 ・「夏休みの思い出」にかかわるスピーチのモデル文に触れる。 5 話題の決定 ・夏休みに関わる自分が書きたい話題を簡単なワークシートに英語でいくつか書かせる。 ・ワークシートをとなり同士で交換し、スピーチとしてして聞いてみたい話題にマークさせ、それに関する質問を書かせる。 ・交換したシートをもとに話題を決定する。 5 教科書のスモールステップ Step 2 (Writing) 情報の整理 ・「夏休みの思い出」というトピックに基づいて自分について英語で書く前に教科書やGアップシートのモデル文を参考にしながら、自分の作文の話題にそったメモ書きを作成する。	・フラッシュカードを用いて、CDや教師のあとに続いて大きな声で発音させる。 ・内容を考えさせながら音読させる。 ・モデルとなる文の内容について、口頭で生徒に質問しながら確認する。 導入時とは別の夏休みに関する話題を盛り込んだシートを活用し、言語材料の定着度を確認しながら、いろいろな表現方法に気づかせる。 ・「どこで何をした」というような文をなるべく多く思い出させ、英語で書かせる。 Gアップシートの話題からも自分のしたことに近いものをピックアップさせて自分のことに置き換え表現させる。 ・聞いてみたい話題に関しては、日本語でよいので1つの話題になるべく3つ以上の質問を書かせる。 教科書とあわせてGアップシートを活用し、自分なりにアレンジさせながら情報を整理し、メモを完成させる。 整理できない生徒には教師が支援し、夏休みにしたことを質問しながら、教科書やGアップシートにある表現を参考にさせ、1つでも多く英文を書かせるようにする。
終末 (10)	6 自己表現活動（書くこと） ・「夏休みの思い出」というトピックについて英語でまとまりのある英文を書く。 （Gアップシート 4連文以上）	・メモを参考に、できるだけ多くの文を書かせるように指導する。 ・事実だけではなく、自分の気持ちや考えも英語で表現させる。 スピーチをすることを目標とさせ、相手が理解しやすい文のくみたて方について考えさせながら書かせる。 机間巡視をしながら、書けない生徒に支援し、モデル文を参考にさせながら、1文でも多く文を書かせる。

【補充資料 2 - 】単元 「Multi Plus 2」の指導展開案 (2)

単元 「Multi Plus 2 わたしの夏休み」の指導展開案 (2 / 2 時間)

(1) 目標 ・「夏休みの思い出」というトピックに基づき、自分について書いた英文をスピーチとして発表できる。

(2) 評価規準

評価場面	具体の評価規準		Cへの生徒への支援
	A	B	
トピックに基づき自分の書いた英文をスピーチとして発表する。	聞き手に伝わるように、大きな声で感情をこめてスピーチすることができる。	自分のことをスピーチをとおして、聞き手に伝えることができる。	教師が机間巡視をしながら、スピーチすることを支援する。

(3) 展開 (2 / 2 時間)

	学 習 活 動	指 導 上 の 留 意 点 (はGアップシートの活用)
導入 (10)	1 帯学習 (スピーチの練習) ・「夏休みの思い出」についてスピーチの練習に取り組む。 2 本時の学習課題を確認する <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">「夏休みの思い出」というテーマで、英語でスピーチをしよう</div>	<ul style="list-style-type: none"> ・聞き手に伝わりやすい声の大きさについて考えさせるとともに、感情を込めて練習させる。 ・机間巡視しながら、読めない生徒がいないか確認する。
展開 (20)	3 自己表現活動 (書くこと)の振り返り ・自分の書いた英文の見直しをする。 4 自己表現活動 (スピーチ) ・「夏休みの思い出」というテーマのもと自分の書いた英文をスピーチとして発表する。 (グループ...班ごとに発表させる) ・聞いている生徒はスピーチの聞いての感想などをコメント用紙に書く。	スピーチの前に見直しをさせ、自分の課題に気付かせる。 必要に応じて、前時に使用したGアップシートを活用して、文法や語彙、表現をもう一度確認する。 <ul style="list-style-type: none"> ・聞き手に伝わるように大きな声で発表させる。 ・聞いている生徒を発表者に注目させ、内容について聞き取るように指示をする。 ・スピーチを聞いている生徒には感想やもっと聞いてみたいことなどをコメント用紙に書かせ、発表者に渡すように指示する。
終末 (20)	5 スピーチの文の清書 (文化祭の教科展示作品)	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の書いたスピーチの原稿をもとに、「夏休みの思い出」というテーマで清書させる ・イラストなども書かせて、自由に工夫させながら活動させる。 ・コメント用紙をみてもっと書きたいことがある生徒や思うように書けない生徒を支援する。